

Blue Birds / Blue Ceramics

榎本佳子

アーティスト・イン・レジデンス企画

2022
7.30 Sat
↓
8.25 Thu

会場: 陶芸館ギャラリー
開館時間: 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
休館日: 毎週月曜日 入場料: 無料 主催: 滋賀県立陶芸の森

 滋賀県立 **陶芸の森** 陶芸館
ギャラリー

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
TEL: 0748-83-0909 FAX: 0748-83-1193
URL: <https://www.sccp.jp>



Blue Birds/Blue Ceramics

滋賀県立陶芸の森は美術館と滞在型スタジオを兼ね備えた、全国でも数少ないやきものを専門とする文化施設であり、アーティスト・イン・レジデンス展は、陶芸の森で制作を行うアーティストの活動成果の発表を目的とする展覧会です。本展では令和2年度から3年度にかけて榎本氏が陶芸の森のゲストアーティストとして滞在中に手掛けた作品を展示します。

榎本佳子 MASUMOTO Keiko

<http://keikomasumoto.main.jp/>

兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院修士課程陶磁器専攻修了後、フィラデルフィア芸術大学(アメリカ)、滋賀県立陶芸の森、ヴィクトリア&アルバート博物館(イギリス)でアーティスト・イン・レジデンスに参加し、自身の作風を確立する一方、東京ミッドタウンアワード、トーキョーワンダーウォールのコンペティションで賞を獲得。現在は滋賀県の信楽に工房を構え、2020年度陶芸の森ゲストアーティストとして滞在制作。

ヨーロッパをぶらぶらしている時、東洋陶磁器のコレクションがずらりと並べて飾り付けられているのをしばしば目にしました。中世に東洋の美しい器をコレクションするのが流行し、王侯貴族がこぞって邸宅に並べ立てたのだと言います。その中でも強烈だったのが、ドイツのシャルロッテンブルク宮殿の磁器の間でした。青い染付けの器が、床から天井まで所狭しと並べられているのです。あまりのド派手さにショックを受けると同時に、この迫力に立ち向かうモチーフで大型のインスタレーションができれば面白いものになるだろうと思いました。

その構想から10余年を経て、多くの方々のご協力のもと、ようやく実現することができました。今回は青い染付けのイメージから、海鳥をモチーフとしています。今まででいちばんの大掛かりな作品となりました。楽しんでいただければ幸いです。(榎本佳子)

【関連行事】

榎本佳子 アーティスト・トーク

日時:2022年7月30日(土)14:00～ 会場:陶芸館ギャラリー

【同時期開催】

鶯の土変化 土に託されたきらめき 子どもたち×アーティスト/セラミックス最先端

日時:6月25日(土)～ 9月4日(日)

【入場料】一般=500円(400円) 高大生=380円(300円) 中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金



【陶芸の森へのアクセス】

- JR草津駅より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)
- 信楽高原鉄道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)
- 新名神高速道路 信楽ICから約8分
- 駐車場(無料) 普通車約250台 大型バス約10台



新型コロナウイルス感染症の状況により、予定の変更若しくは中止する場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。